

プレスリリース

クリティカル・エレメント(CEC)、株主に最新情報の 提供を行うとともに、複数の潜在的なバイヤーとの 炭酸リチウムとタンタライト販売交渉の進展状況を報告

2012年8月2日 – ケベック州モントリオール市 – CRITICAL ELEMENTS CORPORATION (トロント証券取引所(TSX.V): CRE)、(米国店頭取引市場(OTCQX): CRECF)、(フランクフルト証券取引所(FSE): F12)は、Rose プロジェクトの実現可能性調査と環境影響調査の進捗状況と、生産される炭酸リチウムとタンタル精鉱の売買契約締結に向けた戦略的パートナーとの交渉の進展状況に関し、情報を更新させて頂きたいと思っております。

炭酸リチウムとタンタル精鉱のオフテイク契約の交渉状況:

ケベック州で今後 Rose 鉱山から産出されるリチウムとタンタルのバイヤー/ユーザーと将来の売買契約を交渉し、最終的に締結させるため、去る1月にロン・マクドナルド(Ron MacDonald)、マーク・バッジヨ(Mark Baggio)、およびジャン=フランソワ・メイユール(Jean-François Meilleur)が当社の取締役会に加わりました。

ここ数ヶ月にクリティカル・エレメント(CEC)のチームは、炭酸リチウムとタンタライトの潜在的なバイヤーたちと商談に入りました。当社は現在、長期的な売買契約条件とリスク分散の条件を各バイヤーと交渉しています。当社では、様々なバイヤーの技術仕様に合わせてパイロットプラントの作業を設定できます。パイロットプラントはこの秋までに設置されて炭酸リチウムとタンタル精鉱のバルク試料が作製される予定です。また、当社最終製品のサンプルが潜在的なバイヤーの多くに提供される予定です。かかるサンプルにより、バイヤー企業ではバッテリーを試作して、それを対象となる最終製品に搭載して性能試験を行うことができます。

これらの仕様を収集・蓄積することで、クリティカル・エレメント(CEC)は将来のバイヤーの要件を満たす最終製品をより効率的に提供して、将来の売買契約の締結を促進することができます。

冶金学/精錬:

これまでに Rose 鉱床から得たリシア輝石精鉱に基づいて行われた作業では炭酸リチウムの回収率 91%がもたらされました。さらなる試験を行うことにより、この回収率を 94%範囲に高めることができると期待されます。これらは予備的経済評価で使用した回収率を支える結果となっています。

電池グレード基準を満たす目的で、特に製造する炭酸リチウムの純度に重点が置かれています。高純度の電池グレードは、すでに得られた純度 99.9%の Li_2CO_3 により、これまでに容易に達成されています。塩湖または旧硫酸混和処理(マグネシウム、カルシウム、ナトリウム、カリウム)で製造された炭酸リチウムに通常混入している主な不純物は、Rose での炭酸リチウムには 10 ppm 未満の濃度でしか存在していません。CEC は、さらに高い純度の製品を達成することに大きな問題を感じていません。「電池グレード」の称号を取得するには、炭酸リチウム製品の純度が最低 99.5%である必要があります。

また、タンタルの回収率に関する作業も進行しています。浮選法、それに続く高勾配磁気分離法と重力分離法との組み合わせにより、これまでに達成した総回収率は 60%であり、当初の予備的経済評価(PEA)での予測回収率よりも 10%高い回収率を実現しています。また、Rose のタンタル精鉱品から純粋なタンタル酸化物を製造するために必要な追加作業も実行されています。

Rose 鉱床の鉱物学な性質は均質です。それにもかかわらず、ばらつき特性の評価(該当する場合)を行うため、

リシア輝石の一次浮選に関する試験作業は継続しており、本鉱床のあらゆる部分から採取した一連の合成物の粉砕作業も行っています。

リスクの可能性の排除:

ここ数ヶ月にクリティカル・エレメント(CEC)は、酸発生率(湿潤セル)と、採掘や選鉱工程で発生する尾鉱やずり(廃石)からの金属の浸出率とを測定する試験をいくつか行いました。 鉱脈全体の代表的結果を確保するために、すべての採掘ブロックの複合試料が検査されました。 すべての試験は、選鉱工程と炭素化工程で発生するずり(廃石)や尾鉱が酸性度を生じさせたり、金属を浸出させることがないことを示しました。 これらの試験結果は、予備的経済評価(PEA)で使用された前提を確認し、当該調査の報告書に記載されたリスクを排除できることを確認するものです。

ROSE プロジェクト、実現可能性調査および環境影響評価:

2011 年 12 月に当社はその全額出資子会社であり、ケベック州ジェームス湾に位置する Rose リチウム・タンタルプロジェクトの予備的経済評価を発表しました。 本調査は、タンタライト精鉱に含有される Ta_2O_5 の予測価格 260 米ドル/kg (\$118/lb)と、炭酸リチウム(Li_2CO_3)の予測価格 6,000 米ドル/トンに基づいています。 Rose プロジェクトの税引き後の内部収益率(IRR)は 25%と推定され、推定正味現在価値(NPV)は割引率 8%で 2 億 7900 万カナダドルです。 返済期間は 4.1 年と推定されています。 税引前 IRR は 33%と推定され、割引率 8%の税引前 NPV は 4 億 8,800 万ドルと推定されています。 (鉱物埋蔵量ではない鉱物資源量は採算性を実証するものではありません)。

本プロジェクトは、最新の情報開示基準 NI 43-101 に基づく概測資源量 2,650 万トン(品位 1.30%の Li_2O 等価または品位 0.98%の Li_2O および品位 163ppm の Ta_2O_5)と、予測資源量 1,070 万トン(品位 1.14%の Li_2O 等価または品位 0.86%の Li_2O および品位 145ppm の Ta_2O_5)をホストしています。

予備的経済評価の発表に続き、当社の取締役会は本プロジェクトの実現可能性調査を即座に開始することで、プロジェクトを早期に生産段階に移行させるように迅速化させることを決定しました。 当社は、ポール・ボンネビル(Paul Bonneville)を実現可能性調査のプロジェクトマネージャーに任命し、実現可能性調査を分担して行うため、Genivar、SECOR、AMBUCK、BUMIGEME、AMEC などを含む各種の専門企業によるサービスを受けることにしました。

また、環境影響評価の作業も継続的に行われています。 ここ数週間に Genivar は本環境影響評価に必要な最終データを収集する最後の現地調査を行いました。 本環境影響評価は通常、第 4 四半期末までに完了させる必要があります。

このリリースの技術的な内容は、地質学者・当社株主・社長兼経営最高責任者・情報開示基準NI 43-101に基づく有資格者ジャン＝セバスチャン・ラバリー(Jean-Sébastien Lavallée) (OGQ#773)により審査・承認されています。

情報:

投資家関係:

ジャン＝セバスチャン・ラバリー (Jean-Sébastien Lavallée) 、有資格地質技師
社長兼経営最高責任者
819-354-5146
president@cecorp.ca
www.cecorp.ca

Paradox Public Relations社
514-341-0408

トロントベンチャー取引所またはその規制サービスプロバイダ
(トロントベンチャー取引所ポリシーの用語定義に基づく)は、
このリリースの妥当性または正確性についての責任を負いません。